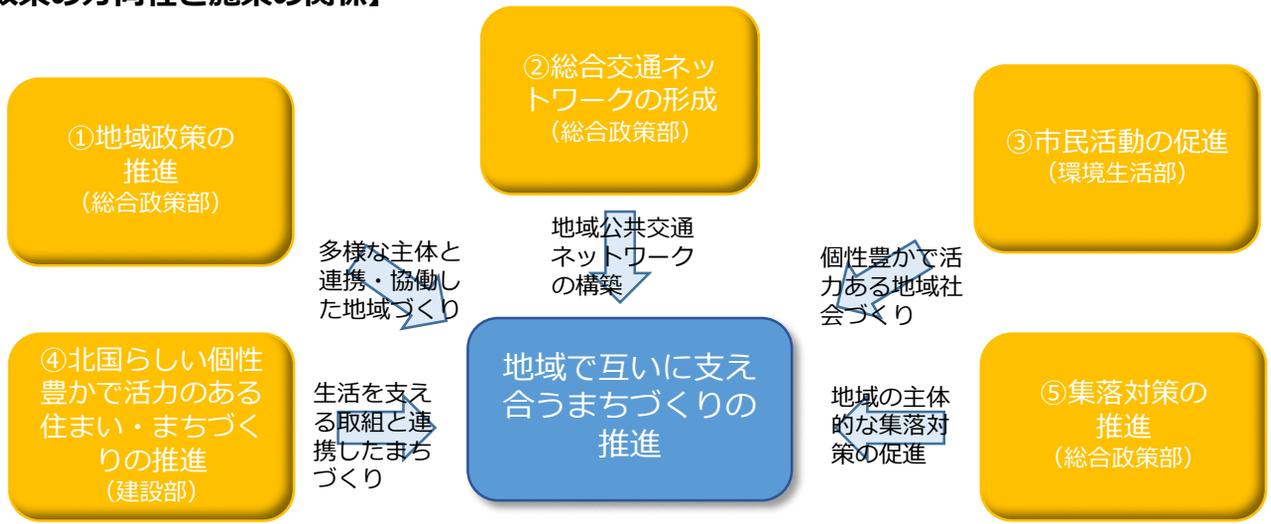


【政策の方向性と施策の関係】



施策名	課題等	主な取組 《》内はコロナの影響	総合評価
①地域政策の推進 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や少子高齢化の進行により、地域の経済や暮らしなど様々な分野への影響が懸念 地域の特性や資源、強みを活かし、多様な主体と連携した地域振興を効果的に推進していくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業や人材等のマッチング ○地域の生活サービス機能維持に向けた取組や地域創生の取組に対して交付金助成 ○地域活動の担い手となる人材の育成 ○札幌市と道内市町村の連携推進《セミナー、イベントの延期等》 	効果的な取組を検討し引き続き推進
②総合交通ネットワークの形成 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や少子高齢化が進行 住み慣れた地域で安全・安心・豊かに生活することができるよう、地域の交通や物流の確保に向けた取組の推進が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活交通の維持・確保と利便性の向上 ○多様な主体が一体となった協議・検討体制による施策の推進 ○シームレスな交通体系の実現に向けたモデル的な取組 	効果的な取組を検討し引き続き推進
③市民活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進行 地域コミュニティを支える人材が不足 市民活動の促進とあわせて、市民活動を支援する中間支援組織の機能強化も必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民活動に関する情報収集・提供、学習機会の確保、人材育成等 ○中間支援組織研修会の開催 ○NPO法人の認証 ○公益的活動に取り組む団体へ活動費助成 	概ね順調に展開
④北国らしい個性豊かで活力のある住まい・まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・少子高齢化の進行などにより、生活関連サービスやコミュニティ機能の維持が課題 良質な民間住宅の普及促進などのまちづくりを推進する必要 適切に管理されない空き家等が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○「北の住みいるタウン」の推進 ○地域課題・広域的な需要に対応した公営住宅整備 ○北方型住宅施策等の推進 ○空き家情報バンクの運営・周知 	概ね順調に展開
⑤集落対策の推進 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や高齢化の進行に伴い、地域において生活機能の低下や交通手段が不足 集落機能の維持・確保に向けて、地域の実情に即した集落対策を地域が主体的に実施することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○集落対策の先進事例の現地視察会を実施 ○有識者を交えた意見交換会を開催 ○情報交換や懇親のため交流大会を開催 ○地域課題の担い手育成を図るファシリテーション研修を実施 ○市町村や地域でまちづくりに取り組む団体からの相談対応、情報提供《研究会等の開催方法の変更》 	効果的な取組を検討し引き続き推進

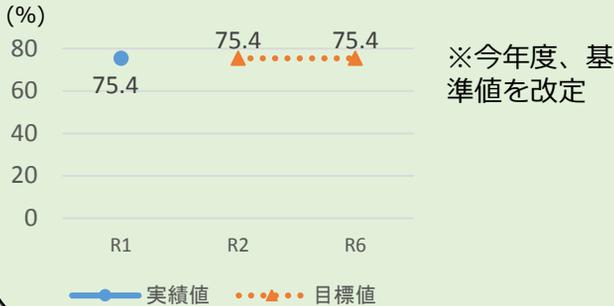
3 分野：人・地域

(1) 政策の柱：協働によるまちづくりの推進や地域コミュニティの再構築

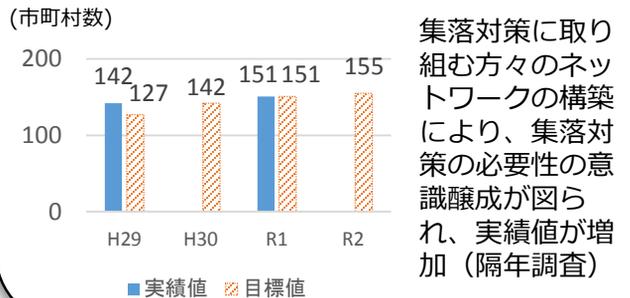
A 政策の方向性：地域で互いに支え合うまちづくりの推進

【総合計画の指標】

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合(施策①②④)

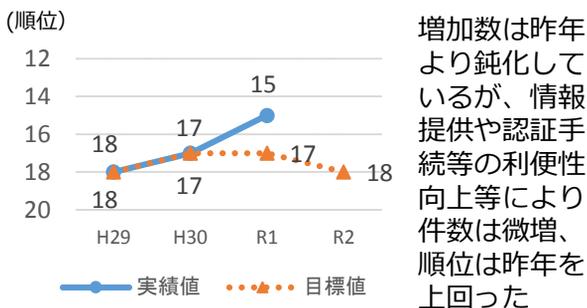


集落対策を実施している市町村数（集落対策に取り組む市町村数）（施策⑤）



【関連指標】

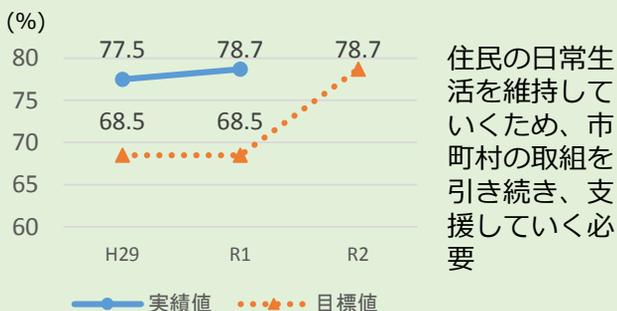
NPO法人数（都道府県順位）（施策③）



まちなか居住の位置づけとして整備する公営住宅ストック数（施策④）



食料品などの日々の買い物に「満足している」、「やや満足している」人の割合（施策⑤）



【ほか1つの関連指標】